

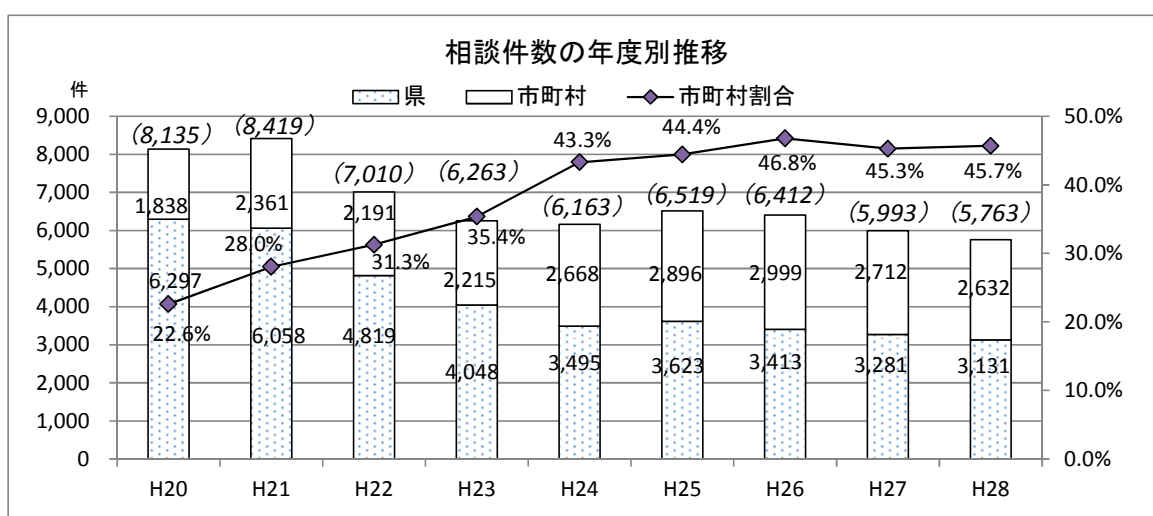
# 平成28年度消費生活相談の概要について

平成29年5月31日  
消費生活センター

## 1 概況

- 県相談窓口への相談件数は、3,131件。前年度比で4.57%(150件)減少した。  
…減少した主な相談は、融資サービス(多重債務相談等)△51件、商品一般(身に覚えのない請求、不審電話等)△31件、役務その他(結婚相手紹介サービス・興信所・弁護士に対する苦情等)△31件など。  
…市町村窓口への相談件数は、2,632件。前年度比で2.94%(80件)減少した。
- 年代別では、50・60歳代の相談件数が増加し、その他の年代では減少した。  
…50・60歳代で増加した相談内容は、「放送・コンテンツ等(アダルト・有料情報サイトからの請求等)」、「インターネット通信サービス(光回線・プロバイダ契約等)」など。

## 2 相談件数の年度別推移



## 3 県の年代別相談状況

区分	H28 (%)	H27 (%)	差引 (ポイント)
19歳以下	24 (0.8)	31 (0.9)	△7 (△0.1)
20歳代	156 (5.0)	166 (5.1)	△10 (△0.1)
30歳代	360 (11.5)	408 (12.4)	△48 (△0.9)
40歳代	515 (16.4)	579 (17.7)	△64 (△1.3)
50歳代	615 (19.6)	591 (18.0)	24 (1.6)
60歳代	678 (21.7)	632 (19.3)	46 (2.4)
70歳以上	525 (16.8)	644 (19.6)	△119 (△2.8)
不明	258 (8.2)	230 (7.0)	28 (1.2)
計	3,131 (100.0)	3,281 (100.0)	△150 (0.0)

## 4 主な相談内容

順位	相談内容	件数(%)	最も多い年代
1	放送・コンテンツ等(アダルト・有料情報サイトからの料金請求等)	682 (21.8)	60歳代
2	融資サービス(多重債務相談等)	191 (6.1)	60歳代
3	インターネット通信サービス(光回線・プロバイダ契約等)	176 (5.6)	50歳代